

「全力でぶつかり悔いなし」

土佐塾 遅すぎた反撃

◇県立春野  
▽2回戦  
土佐塾 0000000001|1  
明德義塾 220000000x|4

⑩…明德義塾は序盤、犠打やバント安打を絡めたそつない攻めで4点を奪い主導権を握る。だが、その後は相手エース田淵に対して淡泊な打撃に終始し、攻撃面で課題を残した。土佐塾は田淵の好投で攻撃でもリズムをつかみ、四、五回に好機をつくるが無得点。九回に松岡の適時打で1点を返すが、反撃が遅すぎた。

●土佐塾・広瀬慎太郎主将 全員で戦った試合だった。勝ちたかった。投手が頑張っていたのに、打てなくて申し訳ない。

強打 明德義塾に 真っ向勝負挑む

土佐塾・田淵投手



強気の投球で明德義塾打線を抑えたエースの田淵悠大君

二回までに4点を奪われた土佐塾。このまま強豪・明德義塾の威圧感にのまれるか……。だが三回途中からエース田淵悠大君(3

年)が登板すると空気が変わった。互いに得点を許さぬ投手戦になった。強打の明德義塾打線に真っ向勝負。直球で内角を突

き、打球を詰まらせた。「相手の応援団が自分を応援していると思ひ込んだ。気持ちで負けたら、ピッチャーは終わり」。三回から八回まで、六つの「0」をスコアボードに刻みつけた。「チーム内で誰よりも走り込んだ」と自負する。下半身を使って投げられるようになり、直球が伸びるようになった。「県ナンバーワンのチームに対してそれが出せた。悔いは無い」と涙をこらえた。

(広江俊輔)

【土佐塾】	打安点
松岡	4 2 0 1
中村	2 0 0 0
打左	3 1 0 0
打右	4 0 0 0
遊二	4 3 1 0
遊三	3 4 0 0
一打	3 2 0 0
一捕	1 0 0 0
右投	3 3 1 0
右投	2 2 1 0
走球	1 2 1 0
振球	1 0 0 0
振球	2 2 0 0
併残	0 1 1 3 5 9 1

【明德義塾】	打安点
投左	3 2 0 0
投右	4 4 2 0
遊七	4 1 0 3
遊八	3 3 1 0
遊九	2 2 0 0
遊一	1 0 0 0
遊二	0 0 0 0
遊三	4 4 1 1
遊四	3 3 2 0
遊五	2 1 0 0
遊六	1 0 0 0
遊七	4 3 3 0
遊八	2 2 0 0
遊九	1 0 0 0
遊一	0 0 0 0
遊二	3 5 4 1 1 1 3 0 9 4

投手	回	安
三田	2	1/3 6
飛田	5	2/3 3
飛七	5	7 1 1
飛七	3	1 1
飛七	1	1

【七俵】	真田	園
明1	1	1
明2	1	1